



TITLE:

兎の星座

AUTHOR(S):

水野, 千里

CITATION:

水野, 千里. 兎の星座. 天界 1939, 19(214): 105-107

ISSUE DATE:

1939-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167773>

RIGHT:

兎の星座

倉敷天文臺主事 水野千里

は し が き

本年は己卯の歳である。兎に因める星座に「兎」星座がある。金鳥(太陽)に對して、銀兎(太陰)がある。兎星座に就いて述べ、太陽系諸星の支那名を御紹介しやう。

1. 學名 *Lepus*
2. 學名物主格 *Leporis* 略符 *Lep*
3. 命名者 西曆紀元 145 年アルマゲストに載せられた四十八星座の一つ。
4. 概略位置 赤經 5h 25m, 赤緯南 20°
5. 二十時南中月日 2 月 6 日
6. 隣星座 北—オリオン、一角獸、東—大犬、南—鳩、西—エリダニ星座
7. 星の等級 三等星— $\alpha \beta \epsilon \mu$, 四等星— $\gamma \delta \kappa \lambda \zeta \eta$, 星團—M 79
8. 星の支那名 軍市— η, ζ , 及び大犬座の星々。軍井— $\iota, \kappa, \lambda, \nu$ 。屏— $\epsilon \mu$
天乘—Piazzi, V^h342 天厠— $\alpha, \beta, \gamma, \delta$ 。野雞—17 Flamsteed

(星辰考原による)

9. 詩歌

軍井星—軍井在天上 瑤池憶一觴 六師行旅日 何必用壺漿

三才圖繪曰軍井四星 在玉井東南 行軍之井也

天淵星, 天厠星, 天尿星(天淵星在奎宿)—天能司不潔 垂象示常經 天淵又天厠 更看天尿星

三才圖繪曰天淵七星 在外屏之南 天之厠也 又曰天厠四星 在天屏東

卽天淵也 主天下病疾 又曰天尿一星在厠南

屏星—屏星何所主 天上作屏風 偏忌客星犯 恩覃四足蟲

三才圖會曰屏二星 在玉井南 爲屏風 客星入之四足蟲大疾人亦多死

不見則國內窮疾 (以上星名詩による)

龜にまけ 天ににげたる 兎さん

ゆつくり ^{ひるね} 午睡なさいませ 君 (大庭瀨子)

附. 太陽系各星の支那名

Soleil—日：東君，利根，連珠，鬱儀，鬱華，朱光，陽鳥，蘇利耶。

Lune—月：桂輪，丹輪，夜光，結璘，蘇摩。

Jupiter—木星：歲星，應星，攝提，重華，重星，農官，紀星。

Mars—火星：熒惑，赤星，縣息，天理，罰星，執法。

Saturne—土星：填星，黃石公，地候，鎮星

Venus—金星：太白，啓明，長實，明星，天亮曉，黃昏曉，熒星，明堂，太皞，殷星，文表，大爽，大澤，火政，晝見，西方釋，滅星，大衰，大露，梁星，天浩，月章，序星，終星，太正，觀星，大相，宮相。

Mercure—水星：辰星，小正，天攏，安周星，能星，司農，伺晨，伺星，鈞星，小武，鼎星，隗星。(以上星辰考原による)

談天卷二，諸行星(遊星)中小遊星のところを見ると，次の様である。

其の微にして見難く，亦た必ず窺ふに遠鏡(望遠鏡)を以てする者，一に曰く穀女，二に曰く武女，三に曰く天后，四に曰く火女，五に曰く嚴女，六に曰く穉女，七に曰く虹女(一に曰く虹神)，八に曰く花女(一に曰く花神)，九に曰く慧女(一名獵師)，十に曰く醫女，十一に曰く處女(一名巴腿拿卑)，十二に曰く勝女，十三に曰く傳女(一名婁及利亞)，十四に曰く和女(一名以來奈)，十五に曰く時女，十六に曰く靈女，十七に曰く海女，十八に曰く歌女，十九に曰く吉女，二十に曰く王女，二十一に曰く琴女，二十二に曰く詩女，二十三に曰く戲女，二十四に曰く公女，二十五に曰く福女，二十六に曰く陰女，二十七に曰く簫女，二十八に曰く戰女，二十九に曰く洋女三十に曰く天女，三十一に曰く麗女，三十二に曰く果女，三十三に曰く瑟女，三十四に曰く巫女，三十五に曰く沉女，三十六に曰く馳女，三十七に曰く信女，三十八に曰く邪女，三十九に曰く喜女，四十に曰く律女，四十一に曰く桂女(一名大副尼)，四十二に曰く地女(一名依昔斯)，四十三に曰く愛女，四十四に曰く使女，四十五に曰く香女，四十六に曰く家女，四十七に曰く仁女，四十八に曰く淚女，四十九に曰く牧女，五十に曰く貞女，五十一に曰く禽女，五十二に曰く勝女，五十三に曰く鳥女，五十四に曰く哲女，五十五未だ詳ならず，皆な西國近代測り得る所の者，凡そ此の諸

星細かに其の行法を推すに、實に太陽を繞る故に皆な太陽の屬する所の星となす。然れども恐らくは此れに止らず、或は隠れ而して見難き者尙多からん。今姑く已に見る所の者に就いて之れを論列せるのみ。(原本漢文)

む す び

「談天」は英國ロイヤル天文學會の會長 J. ハーシェル氏撰する所で、其の原刊は西曆 1851 年(嘉永 4 年)で、其の後英人偉烈亞力又爾後の創見諸説を加集し譯して、本書を爲せしは、西曆 1858 年(安政 5 年)である。第五十五以下の支那名御承知の方は本誌に御投稿を願ひ擧筆する次第である。

會 告

十二月 28 日 金 30.00 圓 故御令室水野千代香殿記念寄附

岡山市 水 野 千 里 殿

上記の如く有意義な寄贈に接しました。茲に改めて厚く御禮申し上げます。

東 亞 天 文 協 會

東亞天文協會昭和13年度(13年一月1日より十二月末日迄) 決算報告

(昭和13年度總會にて報告のもの)

| 収 入 | | 支 出 | |
|---------|---------|---------|---------|
| 會 費 | 2248.48 | 天 界 費 | 1611.58 |
| 廣 告 料 | 170.67 | 事 務 費 | 334.00 |
| 寄 附 金 | 30.00 | 通 信 費 | 126.75 |
| 雜 益 | 15.18 | 印 刷 費 | 139.25 |
| 觀 測 部 費 | 317.86 | 返 濟 金 | 107.05 |
| | | 天界發送費 | 84.59 |
| | | 交 通 費 | 14.92 |
| | | 編 輯 費 | 12.28 |
| | | 集 金 費 | 18.18 |
| | | 雜 費 | 79.65 |
| | | 役 員 會 費 | 41.34 |
| | | 觀測部發送料 | 100.63 |
| | 2782.19 | | 2670.22 |

京都の本會例会 來二月 5 日 18 時樂友會館にて山本博士「遊星各個の構造に関する研究」